

2 0 2 6 年 3 月 期 通 期  
決算補足説明資料

*Supplementary Material on Financial Results*

オイレス工業株式会社 / 東証プライム市場：6282

お客様と共に世界初・世界一へ



2026年5月12日

# 目次

Contents

I | 2026年3月期 連結業績概要

---

II | 設備投資・減価償却

---

III | 2027年3月期 通期業績予想

---

IV | 株主還元

---

V | Appendix

---

## 業績概要（連結損益計算書）



（単位：百万円、[ ] 内売上高利益率）

	2025/3 (前期実績)	2026/3 (当期実績)	増減額	増減率	2026/3 期初通期予想	増減額	期初予想比
売上高	67,604	68,964	1,359	2.0%	71,200	▲2,235	▲3.1%
営業利益	6,942[10.3%]	6,958[10.1%]	15	0.2%	6,400	558	8.7%
経常利益	7,381[10.9%]	7,239[10.5%]	▲141	▲1.9%	6,700	539	8.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,308[ 9.3%]	5,009[ 7.3%]	▲1,299	▲20.6%	4,700	309	6.6%
1株当たり当期純利益 (EPS)	208.41円	171.77円	▲36.64円	▲17.6%	—	—	—
1株当たり純資産 (BPS)	2,590.73円	2,742.52円	151.79円	5.9%	—	—	—
1株当たり年間配当金 (DPS)	85.00円	85.00円	0.00円	0.0%	—	—	—

### 各通貨の換算レート

※B/S科目の残高項目は決算日レートにより換算しております  
※急激な為替変動時は別途調整を行う場合がございます

通貨	米ドル	ユーロ	チェココルナ	人民元	タイバーツ	インドルピー
2024年度平均レート	151	164	6.54	21.0	4.30	1.82
2025年度適用レート	149	169	6.86	20.8	4.56	1.72

（単位：百万円）

## ■ 売上高

	2025/3 (前期実績)	2026/3 (当期実績)	増減額	増減率	2026/3 期初通期予想	期初予想比
一般軸受機器	14,830	15,949	1,118	7.5%	15,600	2.2%
自動車軸受機器	33,804	34,221	417	1.2%	34,700	▲1.4%
構造機器	11,311	11,235	▲75	▲0.7%	12,600	▲10.8%
建築機器	5,938	5,765	▲172	▲2.9%	6,460	▲10.7%
連結合計	67,604	68,964	1,359	2.0%	71,200	▲3.1%

（単位：百万円、 [ ] 内売上高利益率）

## ■ 営業利益

	2025/3 (前期実績)	2026/3 (当期実績)	増減額	増減率	2026/3 期初通期予想	期初予想比
一般軸受機器	1,133[ 7.6%]	1,668[10.5%]	534	47.2%	1,300	28.4%
自動車軸受機器	3,363[ 9.9%]	3,394[ 9.9%]	31	0.9%	3,100	9.5%
構造機器	1,956[17.3%]	1,306[11.6%]	▲649	▲33.2%	1,400	▲6.7%
建築機器	391[ 6.6%]	464[ 8.1%]	72	18.6%	540	▲14.0%
連結合計	6,942[10.3%]	6,958[10.1%]	15	0.2%	6,400	8.7%

## 業績概要（四半期業績推移）



（単位：百万円、 [ ] 内前年同期比）

### ■ 売上高

	2025/6	2025/9	2025/12	2026/3	累計
一般軸受機器	3,958[ 9.4%]	3,779[ 0.8%]	3,867[ 11.6%]	4,344[25.3%]	15,949[ 7.5%]
自動車軸受機器	8,246[ 1.5%]	8,134[▲5.5%]	8,898[ 2.8%]	8,941[ 3.3%]	34,221[ 1.2%]
構造機器	2,898[ 5.6%]	3,092[ 7.4%]	1,562[ ▲57.0%]	3,681[ 1.2%]	11,235[▲0.7%]
建築機器	1,110[▲7.8%]	1,326[▲8.2%]	1,594[ ▲6.8%]	1,734[ 1.4%]	5,765[▲2.9%]
連結合計	16,700[3.8%]	16,760[▲2.0%]	16,364[ ▲8.5%]	19,138[ 7.0%]	68,964[ 2.0%]

### ■ 営業利益

（単位：百万円、 [ ] 内前年同期比）

	2025/6	2025/9	2025/12	2026/3	累計
一般軸受機器	433[ 99.5%]	414[ 18.8%]	368[ 258.3%]	451[ 338.6%]	1,668[ 47.2%]
自動車軸受機器	785[ ▲12.3%]	766[▲23.1%]	1,162[ 81.5%]	679[ 6.1%]	3,394[ 0.9%]
構造機器	470[ 11.5%]	310[▲51.1%]	▲47[ — ]	573[▲21.0%]	1,306[▲33.2%]
建築機器	▲48[▲167.4%]	40[▲51.9%]	177[ ▲21.4%]	295[ 31.0%]	464[ 18.6%]
連結合計	1,675[ 9.5%]	1,554[▲25.5%]	1,702[ ▲1.1%]	2,026[ 17.7%]	6,958[ 0.2%]

## 業績概要（連結貸借対照表）



（単位：百万円）

	2025/3 (前期末実績)	2026/3 (当期末実績)	増減額	増減率
流動資産	59,319	60,379	1,059	1.8%
固定資産	34,042	39,049	5,007	14.7%
総資産	93,361	99,429	6,067	6.5%
流動負債	13,496	13,524	27	0.2%
固定負債	3,020	5,288	2,268	75.1%
純資産	76,844	80,616	3,771	4.9%
自己資本比率	81.6%	80.6%	—	▲1.0 <sub>対</sub>
流動比率	439.5%	446.5%	—	7.0 <sub>対</sub>

(単位：百万円)

	2025/3 (前期実績)	2026/3 (当期実績)	増減率	2026/3 期初通期予想	期初予想比
設備投資等	4,506	6,257	38.9%	7,000	▲10.6%
減価償却費	3,466	3,436	▲0.9%	3,600	▲4.5%

## 2027年3月期 通期業績予想



(単位：百万円、 [ ] 内売上高利益率)

	2026/3 (当期実績)	2027/3 (来期予想)	増減額	増減率	2027/3 中期計画	対中期計画 増減額	対中期計画 増減率
売上高	68,964	72,300	3,335	4.8%	75,000	▲2,700	▲3.6%
営業利益	6,958[10.1%]	7,150[ 9.9%]	191	2.8%	7,350	▲200	▲2.7%
経常利益	7,239[10.5%]	7,250[10.0%]	10	0.1%	—	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,009[ 7.3%]	5,050[ 7.0%]	40	0.8%	—	—	—
1株当たり当期純利益 (EPS)	171.77円	173.34円	1.57円	0.9%	—	—	—
1株当たり年間配当金 (DPS)	85.00円	95.00円	10.00円	11.8%	—	—	—

### 各通貨の換算レート

※B/S科目の残高項目は決算日レートにより換算しております  
※急激な為替変動時は別途調整を行う場合がございます

通貨	米ドル	ユーロ	チェココルナ	人民元	タイバーツ	インドルピー
2025年度平均レート	149	169	6.86	20.8	4.56	1.72
2026年度適用レート	154	180	7.43	22.3	4.86	1.69
中期計画策定時レート	140	152	6.34	19.8	4.04	1.76

## 2027年3月期 通期業績予想（セグメント別）



### ■ 売上高

（単位：百万円）

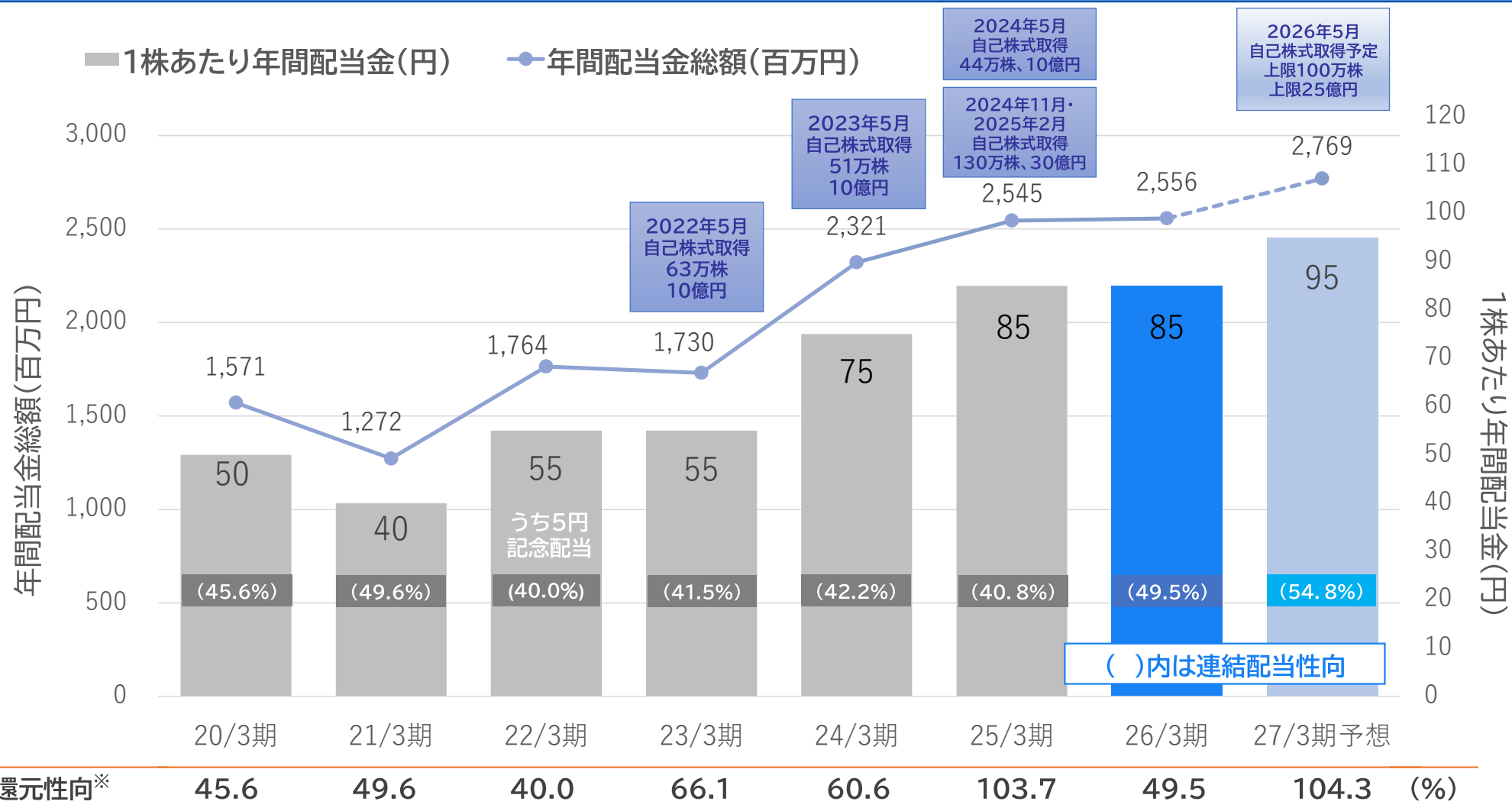
	2026/3 (当期実績)	2027/3 (来期予想)	増減額	増減率	2027/3 中期計画	対中期計画 増減率
一般軸受機器	15,949	16,300	350	2.2%	16,700	▲2.4%
自動車軸受機器	34,221	36,600	2,378	7.0%	36,300	0.8%
構造機器	11,235	10,900	▲335	▲3.0%	13,550	▲19.6%
建築機器	5,765	6,550	784	13.6%	6,550	0%
連結合計	68,964	72,300	3,335	4.8%	75,000	▲3.6%

### ■ 営業利益

（単位：百万円、 [ ] 内売上高利益率）

	2026/3 (当期実績)	2027/3 (来期予想)	増減額	増減率	2027/3 中期計画	対中期計画 増減率
一般軸受機器	1,668[10.5%]	1,400[ 8.6%]	▲268	▲16.1%	1,700	▲17.6%
自動車軸受機器	3,394[ 9.9%]	4,050[11.1%]	655	19.3%	3,800	6.6%
構造機器	1,306[11.6%]	1,050[ 9.6%]	▲256	▲19.7%	1,200	▲12.5%
建築機器	464[ 8.1%]	560[ 8.5%]	95	20.6%	560	0%
連結合計	6,958[10.1%]	7,150[ 9.9%]	191	2.8%	7,350	▲2.7%

# 株主還元



※総還元性向は、取締役会決議時に自己株式取得上限金額を計上して算出しています

# Appendix

会社名	オイレス工業株式会社 OILES CORPORATION
設立	1952（昭和27）年3月11日
本社所在地	神奈川県藤沢市桐原町8番地
資本金	85億8,500万円
上場区分	東京証券取引所プライム市場 （証券コード：6282）
代表者	代表取締役社長 坂入良和
事業内容	オイルレスベアリング、免震・制震装置、支承、その他の製造販売。 建築機器（ウィンドウオペレーター、環境機器、住宅用機器等）は、当社子会社のオイレスECO株式会社が事業を実施。
従業員	連結2,065名（535名） 単体833名（322名） *パート/嘱託社員は（ ）内に当期間の平均人員を外数で記載

拠点	営業所：東京、大阪、名古屋、豊田、札幌 宇都宮、浜松、広島、九州 事業場：藤沢（神奈川）、足利（栃木） 工場：滋賀、大分 支店：ソウル（韓国） 海外：米国、上海（中国）、蘇州（中国） ドイツ、チェコ、タイ、インド	
	特許	3,647件 （うち外国1,693件）
取得産業 財産権	実用新案	612件（うち外国5件）
	意匠	78件（うち外国2件）
	商標	852件（うち外国322件）
	出願中産業財産権	124件（うち外国90件）
連結子会社	日本国内：8社 海外：7社	

経営理念

オイルレスベアリングの総合メーカーとして  
世界のリーダーとなり、技術で社会に貢献する

われわれはオイレスの名のもとにあつまった。  
世界に通ずるOILESで、ともに成長しよう。

社 是

- Onward** 日々前進を  
昨日よりも今日、今日よりも明日、と力強く前進しよう。
- Idea** 創意と工夫を  
絶えず創意を生み、研究と努力を重ね、開拓者精神に生きよう。
- Liberty and Law** 自由と秩序を  
人格を尊重し、個性と能力を生かしあって秩序正しい職場を築こう。
- Expert** みんな専門家に  
一人ひとり専門家に、会社は専門メーカーに徹しよう。
- Service** 社会に奉仕を  
つねに真心こめて仕事にあたり、社会に奉仕しよう。

創業者 川崎宗造が「無給油木質軸承製造方法」の特許取得

アメリカ製タバコ巻き上げ機の中にあつた油を必要としない軸受との出会いが、オイルスの、日本のオイルレスベアリングの原点です。



神奈川県藤沢市に本社・工場を新設

1970年には滋賀工場（滋賀県栗東市）、1983年には大分工場（大分県中津市）、1993年には足利工場（現 足利事業場、栃木県足利市）



をそれぞれ開設。

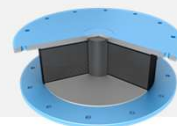
▲1967年当時の藤沢事業場

免震装置「LRB」の製造販売を開始

当装置を使用した日本初の免震構造ビル（左写真）が藤沢事業場に開設。



▼積層ゴムと鉛プラグを一体化した免震装置



藤沢事業場にNP棟を開設

研究開発の機能拡充を目的とした藤沢事業場の再編計画の一環として、NP棟（鉄骨3階建て、延べ7035.57平方メートル）を新たに整備。

新たに整備されたNP棟



1932年

1952年  
当社創業

1967年

1976年

1987年

1997年

2003年

2021年

2022年

2023年

「株式会社日本オイルレスベアリング研究所」を設立

1939年に創業者 川崎宗造が個人経営による「日本オイルレスベアリング研究所」を創設。1958年には「日本オイルレス工業株式会社」に。1966年には現在の「オイルレス工業株式会社」に商号を変更。

初の海外現地法人を米国に設立

1997年にはドイツのトライポメット社を完全子会社化。1998年には上海、2002年にはタイ王国、2003年にはチェコ共和国、2005年には蘇州（中国）、2011年にはインド共和国に海外現地法人を設立。

米国の現地法人「OILES AMERICA CORPORATION」



オイルス ECO株式会社

建築機器事業を手掛ける「オイルスECO株式会社」が発足

当社の建築機器事業部門を分割。販売子会社「オイルス・エコシステム株式会社」と統合し、当社のウィンドウオペレーター®販売部門を継承。



本店所在地を変更

本店所在地を東京都港区から神奈川県藤沢市の藤沢事業場に移行。



## 長期ビジョン OILES 2030 VISION

『サステナブルな社会の実現を、  
摩擦・摩耗・振動の技術 **+X** で貢献する』

コア技術であるトライボロジー&ダンピング  
(摩擦・摩耗・振動)技術でさらなる企業価値向上

「新技術・新規事業創出」と「基盤強化」

### OILES 2030 VISION 経営目標

- 営業利益率15%以上
- ROE10%以上

サステナブルな社会の実現に貢献し  
持続的成長と企業価値向上を目指す

## 中期経営計画2024-2026

OILES 2030 VISION の達成を見据えた中期経営方針



次世代への  
成長投資



生産性向上



ステークホルダー  
に貢献する  
企業価値向上



資本効率性を  
意識した財務運営

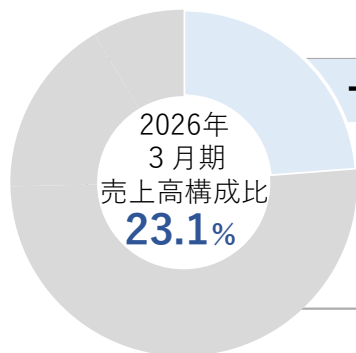
2024

2030

Copyright © OILES CORPORATION All Rights Reserved.

中期経営計画の数値目標や設備投資計画は、下記URLから閲覧いただけます。  
<https://www.oiles.co.jp/ir/strategy/>  
QRコードを読み取ることもアクセスできます。





## 一般軸受機器

半導体製造装置や建設機械のほか、ダムや水門といったインフラ設備、オフィス機器など暮らしの中の様々な分野で使用されています。  
用途に応じて様々な形状や材質、大きさの製品をラインナップしています。

## 主な製品



### オイレス # 500SPR

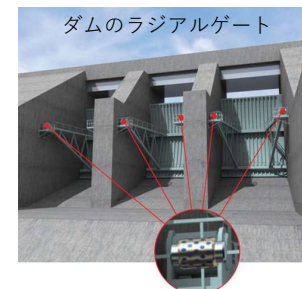
- 高荷重で大きな衝撃がかかる箇所に使用できます。
- 装置の長寿命化やコンパクト化を実現します。



### オイレスエアベアリング (OAB)

軸と軸受の間に空気膜を作り非接触運動をもたらします。  
摩擦係数≒ゼロ（空気抵抗のみ）を実現。精密機器やエレクトロニクス分野で重要な部品として使用されています。

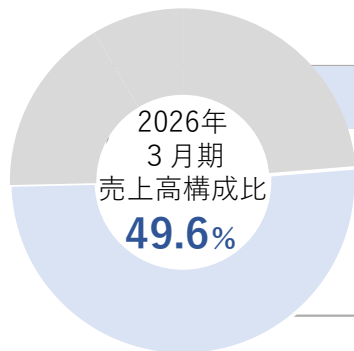
## 採用事例



射出成形機

詳しい製品情報や導入事例は、下記URLから閲覧することができます。  
<https://www.oiles.co.jp/products/bearing/>  
QRコードを読み取ることも、閲覧できます。





## 自動車軸受機器

国内全自動車メーカー及び海外の主要自動車メーカーで採用されています。  
サスペンション、ステアリング、トランスミッション、排気管のほか、内装など自動車を構成する様々な箇所で使用されています。

### 主な製品



#### オイレスPSベアリング

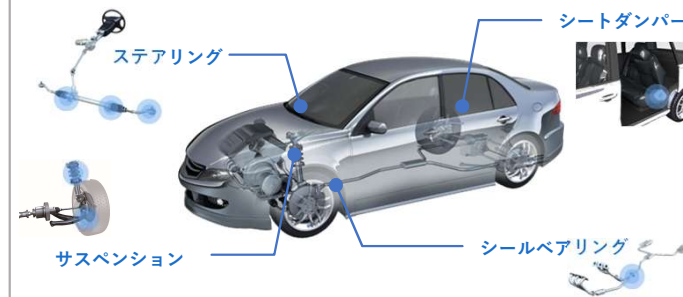
- 摩擦係数が低く、滑らかな運転状態を維持します。
- 軸受ユニットは全てプラスチック製であり、耐食性に優れて軽量です。
- 断続運転・摺動運転で優れた摺動性能を発揮します。



#### オイレスドライメットLF

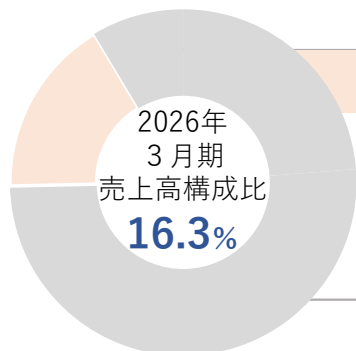
- 無給油で使用可能。
- 高荷重低速条件下で優れた耐摩耗性を発揮します。
- 低温から高温まで幅広い温度範囲で使用でき、耐薬品性にも優れています。

### 採用事例



詳しい製品情報や導入事例は、下記URLから閲覧することができます。  
<https://www.oiles.co.jp/products/bearing/>  
QRコードを読み取ることも、閲覧できます。

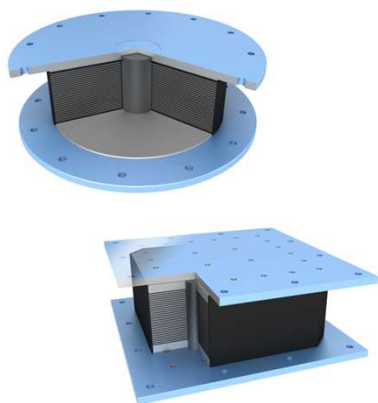




## 構造機器

高速道路や高架橋などの社会インフラや都市再開発による高層ビルで使用。災害時の拠点としてBCP対策が必要な消防署や病院といった公共施設、eコマースの普及により増設が進むロジスティックセンターなど様々な構造物でも採用されています。

## 主な製品



【上】LRB（鉛プラグ挿入型積層ゴム支承）  
【下】LRB-S（角型鉛プラグ挿入型積層ゴム支承）

### LRB（鉛プラグ挿入型積層ゴム支承）

荷重支持および振動絶縁機能としての積層ゴムと、エネルギー吸収機能（ダンパー）としての鉛プラグを一体化した免震装置。

鋼板で補強された積層ゴムが建物を安定的に支持し、地震の揺れをゆるやかな動きに変えます。地震がおさまった後は、ゴムの復元力で建物を元の位置に戻します。

鉛プラグは地震エネルギーを吸収し、大きな振動を速やかに減衰します。一定の力が加わるまでは鉛プラグの高い剛性で建物を固定するため、防風などによる揺れも防ぎます。

## 採用事例



湘南大橋



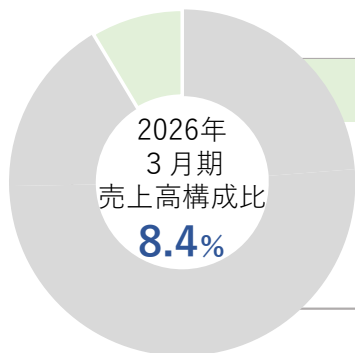
横浜市庁舎

詳しい製品情報や導入事例は、下記URLから閲覧することができます。

[https://www.oiles.co.jp/products/dampin\\_g\\_isolation/](https://www.oiles.co.jp/products/dampin_g_isolation/)

QRコードを読み取ることで、閲覧できます。





## 建築機器

排煙・換気用窓の開閉装置は、緊急時の操作性の課題を解決。火災時の有害な煙を素早く排出する排煙窓は、安心安全なビル環境を実現しています。空気の流れなど自然エネルギーをコントロールする製品は、環境負荷低減（省エネ）や快適な居住環境に貢献しています。

## 主な製品



### ウィンドウオペレーター®

火災発生時の有害な煙を排出する排煙窓を開閉する装置。近年は換気目的としても活用が広がっています。超高層ビルやイベントホールなど大型化、過密化する現代建築になくてはならない存在です。



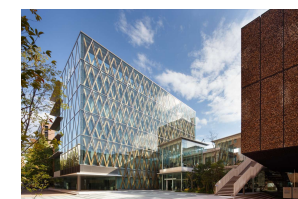
### 外付ブラインド ブリユ®

シャッターにブラインド機能を備えた「ブリユ」が、快適な住空間をつくれます。暑い夏を涼しく過ごすことができるほか、プライバシーの確保や暴風雨から住宅を守る効果も発揮します。

## 採用事例



JR北海道 新函館北斗駅



近畿大学アカデミックシアター

詳しい製品情報や導入事例は、下記URLから閲覧することができます。  
<https://www.oiles-eco.co.jp/>  
 QRコードを読み取ることも、閲覧できます。



当社ウェブサイトでは、今回ご紹介した会社概要や事業内容をさらに詳しく知ることができます。株主・投資家情報やサステナビリティに関する取り組みなども発信しているため、是非ご覧ください。QRコードを読み込んでいただくことでも閲覧できます。

## オイレス早わかり

「オイルレスベアリング」など5つのキーワードと関連する数字で当社概要を解説。



## オイレスとは

会社概要や沿革、経営理念などを紹介。会社案内動画のほか、暮らしの中で使われている当社製品をイラストで解説する「こんなところにオイレス」も掲載。



## 製品

注目製品のほか、各カテゴリーごとに製品の特長や導入事例などを紹介。



## イノベーション

当社のコア技術（トライボロジーとダンピング）に関する紹介のほか、研究開発方針や体制、研究設備などを説明。



## サステナビリティ

サステナビリティ推進策のほか、ESGデータや統合報告書などを公開。



## 株主・投資家情報

中期経営計画や決算短信、有価証券報告書などを公開。IRニュースも発信。



検索

オイレス工業 |

- 🔍 オイレス工業 どんな会社
- 🔍 オイレス工業 興味がある
- 🔍 オイレス工業 知りたい
- 🔍 オイレス工業 気になる

- 本資料は、オイレス工業株式会社に関する情報提供を目的とし、投資家の皆様にご理解いただくために作成いたしました。当社が発行する有価証券に対する投資を勧誘することを目的にしたものではありません。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- 従いまして、本資料の利用は、利用者の判断によっておこないますようお願いいたします。本資料の利用によって生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではありません。
- 本資料に記載されている当社及び当企業グループ以外の企業などにかかわる情報は、信頼できる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性などについて保証するものではありません。

お客様と共に世界初・世界一へ



<https://www.oiles.co.jp/>

